

NEWS LETTER Vol.02

第2回策定委員会を開催しました！

～かわら版で策定準備の状況をお知らせします～



令和8年6月26日に、北名古屋市総合体育館において、第2回地域福祉計画策定委員会を開催しました。

今回から一部の委員が交代し、新たに西尾委員、濱島委員、藤原委員が策定委員会に加わりました。

委員会では、昨年度に実施したアンケート調査の報告や庁内での取組状況の報告、次期計画の体系案などが示され、活発な意見が交わされました。

－第5期北名古屋市地域福祉計画策定委員会 委員名簿－

機関・団体・事業所名	職名	氏名	備考
日本福祉大学 福祉社会開発研究所	客員研究所員	小木曾 早苗	委員長
北名古屋市民生委員児童委員協議会	会長	井上 忍	副委員長
清須保健所	健康支援課長	有川 かがり	
師勝中学校 学校運営協議会	会長	有村 朋泰	
北名古屋市ボランティア連絡協議会	会長	大野 あけみ	
北名古屋市保護司協議会	会長	加藤 秋夫	
回想法スクール卒業生の会「いきいき隊」	会長	加藤 九一	(欠席)
一般社団法人 ママライフデザイン研究所	代表理事	田口 さおり	
NPO 法人 次世代健全育成サポートあひるっこ	代表理事	中田 るり子	
北名古屋市健康づくり推進員OB会	会長	永津 優子	
豊かな学び創造推進協議会	委員	西尾 朋子	
北名古屋市老人クラブ連合会	理事	濱島 康昌	
株式会社総合福祉サービス J・You じゃがいも	代表	早川 京子	
北名古屋市心身障害者福祉協会	会長	藤原 明男	
社会福祉法人西春日井福祉会 尾張中部福祉の杜	施設長	古田 学	(欠席)

令和8年6月26日(金) 現在 50音順 敬称略

アンケート調査の結果を一部ご報告します

地域福祉に関する意識や行動の状況を把握するため、令和8年（2026年）2～3月に北名古屋市の18歳以上の市民1,000人、民生委員・児童委員103人を対象に、アンケート調査を実施しました。

多くの方にご協力いただき、557件の回答が集まりました。

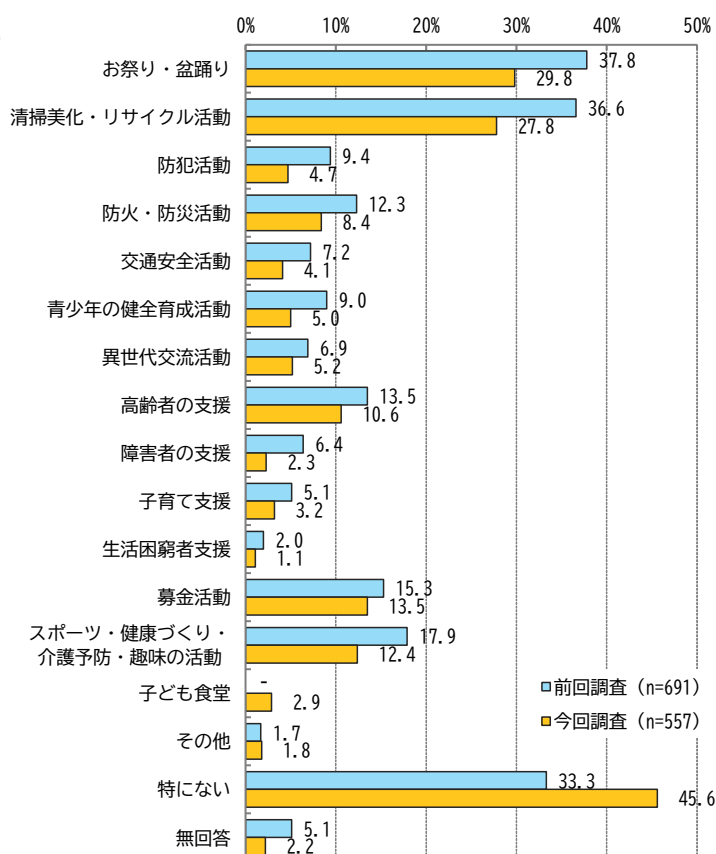
回答にご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。



Q. ここ1年間に参加した地域活動は？

- この1年間に参加した地域活動は、いずれも前回調査より減少し、「特に参加していない」という方が半数近くを占めています。
- 参加が多いのは「お祭り・盆踊り」や「清掃活動・リサイクル活動」など、単発的な活動です。一方、高齢者や障害のある方、生活困窮者への支援といった、継続的な活動への参加は少ない状況です。

地域活動への参加は減少し、継続的な支援活動はさらに少数となっています。



Q. 「成年後見制度」を知っていますか？

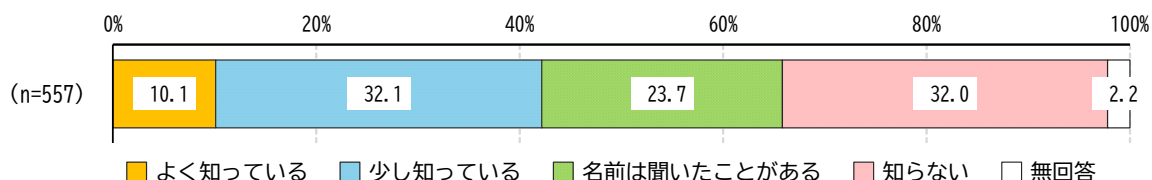
- 成年後見制度について、「よく知っている」「少し知っている」を合わせた『知っている』人は4割程度にとどまっています。一方、「名前は聞いたことがある」「知らない」を合わせた『知らない』人は半数を超えており、制度の認知度はまだ低い状況です。



「成年後見制度」とは

認知症などで判断力が不十分の方の財産管理や契約を、本人に代わって支援する制度です

成年後見制度を「知らない」人が過半数を占めています。



策定委員の意見を一部紹介します

- 自治会加入率の実態はアンケート結果より低く、50%を切っている感覚がある。集合住宅などでは、一括加入で住民に認識がない場合もあり、自治会に加入するメリットを打ち出していく必要がある。



- 自治会未加入が増える中、誰もが入りやすい工夫が必要である。子どもたちが地域での楽しみを経験できない現状に危機感を覚えている。全世代が集まれる場所を作っていかなければならない。

- 「8050問題」だけでなく、より早期の「5020」や子どもの段階からの支援が将来的には必要であると考えている。不登校に対する社会の捉え方も変化しており、学校以外の多様な学習の場など細分化された支援策を盛り込んでほしい。



- 学校でも不登校児童生徒が増加している。

将来を見据え、ひきこもり支援等も含めた切れ目のない心の支援や居場所づくりが重要であると感じる。

- 「包括」という言葉をよく目にする。65歳で障害者福祉から介護保険へ移行する際や、18歳で成人となり障害者サービスが変わる際など、年齢による制度の切れ目で枠からこぼれ落ちてしまう人がいる。

こども家庭庁が「こども」とひらがな表記するように、こうした制度の狭間にいる人々を包括支援センター等が上手く拾い上げ、切れ目なく支援を繋いでいく役割を期待している。

委員会後には、各種団体や活動における担い手不足とその掘り起こしについて活発な意見が交わされたほか、既存の活動のあり方を維持するだけでなく、その魅力をいかに豊かに伝えていくかも課題ではないか、といった意見も出されました。

意見募集

地域福祉計画に関するご意見をお待ちしています。

かわら版をご覧ください、ありがとうございます。

北名古屋市・北名古屋市社会福祉協議会では、第5期北名古屋市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定に向けて、随時、皆さまからのご意見を募集しています。地域で感じている困りごとや、地域福祉への思いなど、ぜひご意見シートでお聞かせください。

また、12月には計画案を市のホームページや東西庁舎の市役所情報コーナーなどで公表し、パブリックコメント(意見募集)を行います。そちらにも、ご意見をお寄せください。

【問合せ先】

●北名古屋市 福祉こども部 社会福祉課

《電話 0568-48-0154 (ダイヤルイン番号) F A X 0568-23-3150 メール shakai@city.kitanagoya.lg.jp》

●北名古屋市社会福祉協議会

《電話 0568-25-8500(代表) F A X 0568-26-2731 メール fukushi@kitanagoya-shakyo.jp》

..... (キリトリ線)

ご意見シート

ふりがな	
氏名または団体名	
住所または所在地	
電話番号	
意見の内容 ※いずれかに○	1. 地域福祉計画について 2. 地域課題について 3. かわら版 第2号について 4. その他()
意見等記入欄	